



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

## 2007.1

No. 273

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



# 第30回関東ブロック協議会の報告

昨年11月18日(土)と19日(日)の2日間、さいたま市南区の中浦和駅隣、プラザホテル浦和で、埼玉県支部が正幹事支部として協議会を主催しました。一般的にはあまり知られていないこの会についてご報告します。(文中、会の関係者は敬称略)

## ●関東ブロック協議会とは

関東地区の野鳥の会支部は、群馬県支部、千葉県支部、神奈川県支部、茨城支部、栃木県支部、吾妻支部、埼玉県支部、奥多摩支部、東京支部の9支部です。

これらの支部が一堂に会して、「情報交換、意見交換、支部間の交流親睦、共同事業の実施、人材の育成、外部への働きかけ、その他本会の目的を達成するために必要な活動」の為に話し合うのが、関東ブロック協議会です。2年に1度、財団(本部)の理事1名と、評議員2名をブロック推薦として選出するのも、大きな役目です。

現在の協議会は、昭和59年(1984年)、埼玉県支部が発足した年に最初の会合が開かれ、今年度で第30回を迎えました。年数と回数が合わない? その通りです。現在は臨時を除いて年に1回開催しますが、かつては年に2回開催されていたこともあるからです。

主催するのは各年度の正幹事支部、冒頭の支部名列記の順番で担当します。今年度は埼玉県支部が、その正幹事支部に当たっているのです。

## ●集まった人たちは

財団(本部)から、柳生博会長、鈴木君子専

務理事、小林豊会員室長、古南幸弘自然保護室長、自然保護室の高井健慈、会員室長代理の安藤康弘。次回正幹事支部の奥多摩支部からは専務理事でもある鈴木君子支部長ら6名、東京支部=西村眞一支部長ら3名、群馬県支部=浅川千佳夫支部長ら2名、千葉県支部=志村英雄支部長ら3名、神奈川県支部=鈴木茂也支部長ら3名、茨城支部=池野進支部長ら3名、栃木県支部=河地辰彦支部長ら3名、吾妻支部=堀込紀夫支部長ら2名、当埼玉県支部からは藤掛保司支部長ら17名、それに来賓の高野博明さん(後述)を加えて、総勢48名です。例えば会長が18日午後5時頃に到着し、後ろ髪ひかれつつ10時頃には帰って行ったように、18日だけの参加、19日だけの参加、という人もいました。皆さんお忙しい中、時間をやりくりして駆けつけてくれました。

## ●会議の内容は

18日(土)午後1時30分に会議開始。議長は藤掛支部長、副議長は海老原美夫副支部長がつとめました。

最初は構成支部連絡先一覧表の確認です。今回の協議会の準備は手紙のやりとりは一切なし、連絡はすべてeメールですませました。初めての試みでしたが、各支部の皆さんにも

ご協力いただきました。文書のやりとりよりネットワークが軽く、手間が随分省けました。そこでこの連絡先一覧表にも、すべての支部のメールアドレスを掲載しました。(但し、このアドレスは支部間の連絡にのみ限定しているものもあります。個



人情の問題も絡んで、全部を公開することはできません。)

次年度正幹事支部(奥多摩支部)、副幹事支部(東京支部)の確認の後、ブロック推薦の河地理事(栃木県支部)、橋口長和評議員(埼玉県支部)、池野評議員(茨城支部)、3名から、この1年間の活動に関する報告がありました。

引き続き各支部の近況報告。埼玉県支部からは海老原副支部長が、本誌昨年8月号の総会報告のコピーをもとに17年度の活動の要旨を、会員種別ごとに作成したグラフをもとに過去1年間の会員数の変動について、報告しました。

### ●議事・報告・意見交換

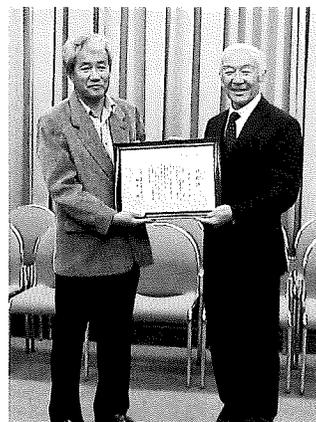
以下项目的に列挙します。

- 1、財団(本部)の説明などを求める事項
  - (1) 改正鳥獣保護法について(茨城支部)
  - (2) 第10次鳥獣保護事業計画について(同)→古南自然保護室長が解説と見解。
  - (3) 珍鳥情報の取り扱いガイドライン検討計画のその後(栃木県支部)→鈴木専務理事が回答。
- 2、財団(本部)から伝えたい事項  
IBA事業→自然保護室高井が説明。
- 3、渡良瀬遊水池シンポジウム後援依頼の件(議題)(本誌昨年12月号「連絡帳」欄で既報)メールのやりとりで合意を得ていたこの件について確認し、議事録に記載することを全支部一致で了承。
- 4、保護活動の①
  - (1) ハス田の防鳥ネットによる野鳥被害対策(茨城支部・報告)
  - (2) シロハラクイナ保護活動(埼玉県支部・報告)
  - (3) 冬水田んぼ(茨城支部・意見交換)

### ●シロハラクイナ保護協力農家に感謝状

1日目の会議が終わって懇親会。その冒頭にシロハラクイナ繁殖のアシ原に隣接する田んぼを耕作していて、当支部の呼びかけに応え農薬散布を中止(本誌昨年9月号)、その後もバードウォッチャーたちと農家との間に立って様々なご協力をいただいたお二人、

高野博明さんと佐藤勇さんに柳生会長から感謝状を贈呈。代表して高野さんが出席、感謝状を受け取っていただきました(=写真)。今回の



出席者全員に差し上げる記念品として、高野さんの田んぼで収穫された新米の小袋(シロハラクイナのシール付き、600g=4合入り)を埼玉県支部として用意、喜ばれました。

### ●2日目

夜中の12時まで続いた二次会については省略します。2日目は朝6時30分にホテル向かいのバス停に集合して、志木駅行きバスでさくら草公園下車、彩湖北端で早朝探鳥会。オオタカ、カンムリカイツブリなど20数種が観察されました。

2日目の会議の項目。

- 5、保護活動の②
  - (1) 谷津干潟ウルバプロジェクト(アオサ対策)の推移(千葉県支部・報告)
  - (2) 成田新高速道路の北印旛沼の鳥類繁殖に与える影響(同)
  - (3) コアジサシコロニーの保護活動(埼玉県支部・報告)
  - (4) 移入種への対応(群馬県支部・意見交換)
- 6、支部運営に関する意見交換
  - (1) 支部後継者の人材育成(茨城支部)
  - (2) 若い新入会員の勧誘方法(吾妻支部)
  - (3) 実施中または実施予定の会員減少対策/会員増加策(東京支部)

19日(日)正午頃全日程無事に終了、散会しました。ご協力いただいた皆様全員に厚く感謝します。

(文責・写真 海老原美夫)

**蕪栗沼 ～マガンに逢いに行こう～**  
**長谷川訓寿(上尾市)**

**1. 蕪栗沼ってどんなところ？**

宮城県にあり、数万羽のマガンが越冬する国内有数の探鳥地です。昨年ラムサール条約に登録された影響もあって、観光客の数もだいぶ増えているようです。しかし分かりにくい場所にあるので、沼までたどり着けない方もいるそうです。私は、仙台から来たという方に場所を聞かれて、沼までご案内した経験があります。車が主な移動手段となりますので、行かれるときは事前に地図で道を調べておくと安心でしょう。

**2. マガン観察の楽しみ方**

**① 罫(ねぐら)入り風景**

日中は採餌のために広範囲に散らばっているマガンですが、夕方になると罫近くの田んぼに集まってきます。それと同時に罫入りを見ようというバードウォッチャーやカメラマンも続々と集まってきます。蕪栗沼の駐車場から歩くこと15分。沼と白鳥(しらとり)地区の間のあぜ道が、マガンを間近に見る絶好のポイントです。

かなり明るいうちから蕪栗沼へ降りてしまう気の早いマガンもありますが、慌てず騒がず待ちましょう。日が暮れなすむ頃、編隊を組んだマガンが三々五々戻ってきて鳴き交わしながら頭上を飛びます。楔形の編隊や槍のような直線の編隊、中には若い個体なのかバラバラに飛んでくる集団もあつたりして、運がよければ、山の端に沈んだ夕日の残光に照らされた夕闇と、日が落ちて暗くなった沼に戻るマガンのコラボレーションを存分に楽しむことと思います。

**② 飛び立ち風景**

翌朝、マガンはまだ真っ暗なうちから小規模な飛び立ちを繰り返しています。そのたびにドギマギしてしまいますが、寒さに耐えて待ちましょう。「待つ」こともマガンを楽しむ秘訣のひとつです。そうそう、現地に売店やトイレはありませんので必要であれば事前に用意を済ませて置いてください。

大規模な飛び立ちは夜明け前、突然始まります。遠くでオートバイのエンジンを吹かす

ような爆音が聞こえたら、マガンが一斉に飛び上がった瞬間です。そしてウンカのごとく舞い上がったマガンが目の前の空を覆いつくすのです。飛び立ちのタイミングと規模はかなり天気に左右されますが、運がよければ言葉葉を失うぐらいの大群が大騒ぎしながら頭上を飛び過ぎるという醍醐味を味わえます。

**③ 周辺の田んぼでの採餌風景**

マガンが沼から離れている昼間は、のんびりと周りの田んぼを見てまわりましょう。個体によって顔つきやくちばしの大きさによりばらつきがありますので、車の中から双眼鏡で一羽ずつ丁寧に観察すると新しい発見があるかもしれません。たくさんマガンの中からカリガネやシジュウカラガンを探するのも楽しいものです。

**3. マガン観察での注意**

飛び立ちを見る場合は暗いうちに現地に着することになりますが、蕪栗沼では土手道に入ったらスモールライトのみで走行するというルールがあります。危なくて運転できないという方は来ないでくださいとも言っています。マガンが安心して休めるようにとの地元の配慮です。徐行運転(10キロ以下)であれば問題なく走れます。

昼間、周辺の田んぼでマガンを観察する場合、無造作に車で近づいて群れを飛ばしてしまう観光客もいると地元の方から伺いました。ポイントはマガンの首です。群れの中で自分達に近い側のマガンが首をピンと伸ばし始めたら要注意です。

今年もまたマガンの季節がやってきました。彼らが安心して来年の春まで過ごせるように気を遣いながら、ほんの少し彼らの日常を覗かせてもらいに行きませんか？



飛び立ち風景



## 野鳥情報

**上尾市藤波** ◇8月26日午前6時30分、上尾霊園でモズが「キキキ…」と高鳴き（立岩恒久）。

**桶川市川田谷** ◇9月24日午前6時20分、江川近くの斜面林でモズ5羽、「キキキ…」と縄張り争い（立岩恒久）。

**桶川市上日出谷** ◇10月30日午後2時、農家の屋根でジョウビタキ「ヒッヒッ、カッカ」と鳴く。初認。例年より遅い（立岩恒久）。

**蓮田市黒浜** ◇10月1日、雨の中の療養所。わかったのはヤマガラとカケスぐらい。枯れた樹冠にキジバトがとまっていたら、すぐに逃げ、直後に別の鳥が来た。ツミ♀の若鳥のよう。しばらく辺りを見回してから飛び去った。10月3日、同所でキビタキ♂1羽♀1羽、ヤマガラ、カケスなど。ヤブ蚊が多くて落ち着いていられない。上沼で足元からヨシゴイが飛び立ち、水面上を渡って、対岸のアシの中に消えた。10月8日、上沼でカルガモの群れ中にマガモ♀1羽。10月9日、上沼でコガモ24羽、ヒドリガモ2羽、初認。10月16日、療養所内でシメ。「ケッケッ」と鳴いて樹冠にとまるイカル。10月20日、同所でアカゲラ1羽、アオジの声（鈴木紀雄）。◇11月5日、療養所でアカゲラ2羽、アオジ、カケス8羽、ジョウビタキ1羽、メジロ、シジュウカラ多し。11月6日、ウズラ1羽、カケス、アオジ。風が強く、鳥影少なかったが、笹藪の縁でウズラ1羽を発見。2、3秒だったが十分観察できた（本多己秀）。

**蓮田市蓮田** ◇11月4日朝、カケスの声を聞いていると垣根のフェンスにジョウビタキ♂とモズがとまっていた。その距離約1.5m。しばらくじっとして（にらみあって）いたが、そのうちジョウビタキがモズに急接近し、勢い込んでモズを追い払ってしまった。縄張り争いだと思うが、ジョウビタキって、随分強いんですね（本多己秀）。

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇10月2日、エゾビタキ8羽、キビタキ(声)3羽、カウコウ若鳥1羽、ヤマガラ、カケス。10月3日、エゾビタキ8羽、キビタキ♂1羽、♀3羽など。10月4日、エゾビタキ1羽、コサメビタキ1羽、キビタキ♀4羽、オオドリ♂若鳥1羽、♀1羽、メボソムシクイ2羽、ツツドリ幼鳥1羽、ヤマガラ、カケスなど。10月9日、サシバがカラスにモビングされつつ北側上空を西へ。メボソムシクイ3羽、キビタキ♀4羽、エゾビタキ4羽、コサメビタキ1羽、カケス、ヤマガラなど。10月10日、「ジ、ジ」の前奏に続けて「ジジロジジロ」と鳴くムシクイ類確認。コメボソムシクイだ。キビタキ♀4羽、エゾビタキ成鳥4羽、幼鳥1羽、コサメビタキ1羽、アカゲラ♂1羽、ヤマガラ、カケスなど。10月11日、キビタキ♀6羽以上、エゾビタキ5羽、アカゲラ♂1羽。10月13日、キビタキ♀5羽、ツツドリ幼鳥1羽、エゾビタキ1羽、シメ3羽初認、アカゲラの声、サシバ2羽、東上空を南へ渡った。10月18日、ツツドリ若鳥1羽、元荒川でヒドリガモ約15羽。10月19日、キビタキ♀1羽、声4羽以上、シメ3羽、ヒドリガモ約15羽。アシ原でさっともぐりこむ大き目の小鳥、オオヨシキリか？「クックック」と鳴くアリスイ確認。林ではアカハラらしき声。10月20日、キビタキ♀1羽、アカゲラ♂1羽、ホオジロ♀1羽、ウグイス、アリスイの声を聞く。元荒川でイカルチドリ1羽、ヒドリガモ約30羽、マガモ♂1羽、コガモ3羽。10月21日、エゾビタキ1羽、まだいた。ツツドリ若鳥1羽、ヒドリガモ約30羽。村国池でマガモ♂♀各1羽。コジュケイ5羽。10月24日、ツツドリ若鳥1羽、アカゲラ♂1羽、ヒタキ類1羽、ヤマガラ、カケスはほんとに多い。10月25日、ジョウビタキ♂1羽初認。旧ブルーキテストコースの最奥部のクヌギ林をのぞいたら、頭上で動く影。ぱっと見てゴイサギ幼鳥かと思ったが、よく観察したら、なんとミゾゴイだった。ついに、やっと憧れの鳥にマイフィールドで会えた。短めの嘴、目先が青くなく

淡黄色、喉から体下面の黒褐色の不規則な  
たて斑、黄色い脚がよく見えた。しばらく  
して飛び立ち、回り込んだのを見たら、2  
羽で飛んでいたのがビックリ。南西の竹や  
ぶの方に去った。と思ったらもう1羽が出  
てきて木にとまった。すぐ飛び去ったが胸  
のたて斑など確認できた。3羽出現！（鈴  
木紀雄）。◇10月15日、散策の森で久しぶ  
りにアカゲラ♀。近くでジックリ観察。釣  
堀近くでエゾビタキ1羽。10月22日、元荒  
川では水管橋のたもとでヒドリガモ50羽±。  
岩槻大橋～文化公園入口でコガモ11羽。釣  
堀とテストコースの間の林にキビタキ♂。  
色が鮮やかなきれいな個体。しばらくして、  
前週と同様にエゾビタキ1羽が出てきて、  
さかんにエサをとりに飛び回っていた（長  
野誠治）。

**さいたま市岩槻区太田1丁目** ◇10月13日、  
ウグイスのさえずりと谷渡りを聞く。10  
月16日、庭木に見え隠れするウグイス確認  
（鈴木紀雄）。

**さいたま市見沼区大宮南部浄化センター付近**  
◇10月27日、フェンス際の葉の落ちた木に  
ジョウビタキ♂1羽、隣でモズが鳴く。川  
面にヒドリガモ♂1羽、♀2羽、マガモ♂、  
♀、コガモ6羽、バン1羽。水際にアオサ  
ギ、コサギ、イソシギ、ハクセキレイが遊  
び段々賑やかになってきた。11月6日、一  
声二声鳴きながらイソシギが飛び、澄んだ  
声でキセキレイが浄化水の流出口で鳴き、  
ハクセキレイ、セグロセキレイも加わって  
賑やかなお食事会。カルガモ、コガモ、ヒ  
ドリガモ、マガモが岸边に、キンクロハジ  
ロが1羽流れに任せていた。土手の草むら  
にホオジロ、アオジが動き回っていた（赤  
堀尚義）。

**さいたま市見沼区大和田緑地** ◇10月28日午  
前7時頃、雑木林でアカゲラ♂1羽とアオ  
ゲラ♀1羽が一緒にいました。アカとアオ  
のMIX誕生の可能性アリ?!（浅見徹）。

**さいたま市浦和区大原サッカー場付近** ◇10  
月27日、グラウンド脇の草原の立ち木にシメ  
が7羽（初認）、道路を挟んだ草原からキ  
ジがこちらに飛び込んできた（赤堀尚義）。

**川口市西新井宿** ◇10月15日午後2時頃、キ  
ビタキ♀1羽、森の中を歩いていたら、足  
元から飛び出した。10月21日、チョウゲン  
ボウ、秋空を気持ちよさそうに飛んで、高  
圧線にとまる。この動作を繰り返していた。  
10月22日、ノスリ、カラスにモビングされ  
ていた（須崎聡）。

**松伏町大川戸** ◇11月1日午後4時ごろ、中  
川上空を、カワウの大群が帯状になって、  
V字になったり塊になったりしながら、下  
流方向に南下していった。100羽以上の群  
が7、8群いたと思う（佐藤宏）。

**吉見町八丁湖** ◇10月15日午後4時20分頃、  
観察コースへの周遊路側入口の林でオオア  
カゲラ1羽、♂タイプの頭部、アカゲラと  
は異なる背中の模様、脇の縦斑等確認でき  
た（鈴木敬）。

**狭山湖** ◇10月22日、ユリカモメ5羽、ハジ  
ロクロハラアジサシ1羽、後頭から目の後  
方にある黒斑が目の下までであること、足の  
色が赤みがかっていることなどからハジロ  
クロハラアジサシと同定した。カンムリカ  
イツブリ2羽、ハジロカイツブリ10羽以上、  
スズガモとホシハジロ大群、オオバン7羽、  
キンクロハジロ、ヒドリガモ、マガモ、コ  
ガモ等（小林ますみ）。

**川越市新河岸川** ◇10月26日、旭橋と川崎橋  
の間でオシドリ♂1羽、ハシビロガモ7羽、  
ホシハジロ2羽、マガモ、カルガモ、コガ  
モ（藤掛保司・宮子、中間一郎・清美、小  
松裕子、豊島登志子）。

**ときがわ町大野** ◇10月28日午前7時過ぎ、  
高篠峠北の林道でヤマドリ♂1羽、車内か  
ら確認。道路を横断後、間もなく谷の斜面  
へ姿を消した（鈴木敬）。

#### ●ごめんなさいコーナー

前月号「野鳥情報」欄、鈴木紀雄さんが「紀  
夫」となっていました。

#### 表紙の写真

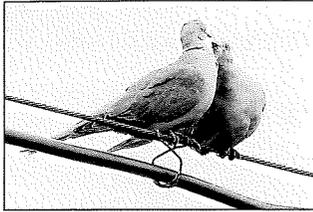
カモ目カモ科マガン属ハクガン

2006年11月6日 宮城県伊豆沼にて

松村禎夫（さいたま市）



## 行事案内



シラコバト(宇田川暉雄)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費:一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物:筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻:特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。悪天候の場合は中止、小雨決行。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

### さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日:1月3日(水・祝)

集合:午前9時30分、さぎ山記念公園入口。  
詳細は前月号をご覧ください。

### 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日:1月5日(金)

集合:午前10時10分、森林公園南口前。  
交通:東武東上線森林公園駅下車、森林公園南口行き9:59発バスで終点下車。  
費用:入園料400円(子供80円)  
担当:藤掛、大坂、藤澤、兼元、高橋(ふ)、高橋(優)、中村(豊)、林

見どころ:山田大沼でカモたちを見て中央口の多目的ホールで鳥合わせをします。アフターは、お弁当を食べながら今年の冬鳥情報に花を咲かせましょう。

### 久喜市・久喜菖蒲公園探鳥会

期日:1月6日(土)

集合:午前9時30分、久喜菖蒲公園駐車場。  
交通:JR宇都宮線白岡駅西口から午前8時37分発朝日バス、菖蒲仲橋行きで「除堀(よけぼり)」下車。徒歩約15分。  
担当:長嶋、大坂、玉井、内田、長野、鬼塚、植平

見どころ:初心者大歓迎。「野鳥観察はカモの識別から……」。カモの識別を始めたい方、昨年は納得できなかった識別を今年には是非と思う方、1000羽近いカモたちが図鑑通りの姿や顔でお待ちしています。丹念に探すと思わぬ珍鳥にあえるカモ。

### ふなばし三番瀬海浜公園探鳥会

期日:1月7日(日)

集合:午前9時30分、JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9:40発ふなばし三番瀬海公園行きにて、終点下車。  
担当:杉本、佐久間、菱沼(一)、齋藤、高橋(優)

見どころ:ミヤコドリは100羽を超え日本一。スズガモの数も日本一。埼玉県では見られないこれらの海鳥たち日本一の光景を見に来てください。

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日:1月8日(月・祝)

集合:午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。  
交通:東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス③番から、彩光苑・春日部エミーナス行き8:41発で「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩3分。  
担当:石川、吉安、橋口、新井(良)、宮下、吉岡(明)、野村(弘)、野村(修)  
見どころ:昨年の11月は30種をオーバー。今冬は小鳥の種類と数が多く、いろいろな鳥が期待できそうです。周辺でもウソが確認されています。

### 松伏町・緑の丘公園探鳥会

期日:1月13日(土)

集合:午前10時15分、松伏町大川戸緑の丘公園予定地。  
交通:東武伊勢崎線せんげん台駅東口下車。

茨城急行バス大正大学入口行き9:20発、  
または9:45発で、「新川西」下車。駐車場  
はありません。

担当:橋口、田邊、吉岡(明)、榎本(建)、植  
平、野村(弘)、野村(修)、小林(善)  
見どころ:年々公園整備が進んで変化していま  
す。環境の変化に伴う野鳥の変化を見る  
のも楽しみです。2年続いたミコアイサは  
今年も来ているかな?

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日:1月14日(日)  
集合:午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前  
交通:秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49  
発に乗車。  
担当:後藤、森本、中里、大澤、倉崎、高橋  
(ふ)、藤田(裕)、栗原、飛田、新井(巖)、  
千鳥、島田、鶴飼  
見どころ:寒さも一段と厳しくなりました。本年  
最初の大麻生です。昨年はミヤマホオジ  
ロ、ペニマシコが姿を見せてくれましたね。  
さあ!今年は何かな。

### 長瀨町・長瀨探鳥会

期日:1月14日(日)  
集合:午前9時20分、秩父鉄道長瀨駅前。  
交通:秩父鉄道熊谷8:15(急行8:41)→寄居  
8:48(急行9:02)に乗車。  
担当:井上、佐久間、小池(一)、小池(順)、  
青山、堀口  
見どころ:オンドリ、ヤマセミが見られるかな、皆  
さんで探しましょう。それに青い鳥、赤い  
鳥も期待しましょう。川原を歩きますので、  
足ごしらえと防寒はしっかりと。

### 戸田市・彩湖探鳥会

期日:1月14日(日)  
集合:午前9時10分、彩湖道満グリーンパーク  
中央駐車場。  
交通:埼京線武蔵浦和駅東口2番バス乗り場  
から、下笹目行き8:37発で「彩湖道満グ  
リーンパーク入口」下車。交差点まで戻り  
左折して土手を越える。  
担当:倉林、藤掛、松村、有馬、赤坂、新部、

## あけましておめでとうございます

支部長 藤掛保司

昨年も、探鳥  
会・自然観察会・  
調査・保護活動  
等々、会員の皆  
様方のご参加を  
頂き、ありがとう  
ございました。

今後も、会員  
皆様の一人一人  
のご協力により、  
会員増加にお力



を注いで頂きたいと存じます。初めて探鳥会等  
に参加された方々は、心細い思いでおられると  
思いますので、気軽に声をかけてあげて下さい。  
各種の地域活動のご案内などもお願いします。

昨年のシロハラクイナの保護活動につきまし  
ては、柳生博会長から、農家の方々へ感謝状  
を贈呈いたしました。渡良瀬遊水池のラムサール  
条約登録を目指す署名活動も、皆様のご協  
力で展開されています。まとめ役の栃木県支  
部からもお礼の挨拶をいただきました。

バードウォッチングを通して、野鳥の素晴ら  
しさと、鳥友とお会いする喜びを楽しみつつ、  
健康で安全に過ごしたいと思います。今年もど  
うぞ宜しくお願い致します。

赤堀、馬場

見どころ:青く澄んだ冬空、雪に輝く富士の山  
きりつと身が締まる北の風。ミコアイサの白  
い姿が彩湖には似合いです。

### 栃木県・千本松探鳥会(要予約)

期日:1月17日(水)  
集合:午前6時45分、JR大宮駅西口代々木  
ゼミナール前。  
交通:往復とも貸し切りバスを利用。  
解散:当日午後7時ごろ、大宮駅西口  
費用:4,000円の予定(バス代、保険料など)  
過不足の場合は当日精算。  
定員:20名(先着順、県支部会員優先)。

申込み:往復はがきに住所、氏名、年齢(保険加入で必要)、電話番号を明記して  
榎本秀和( )まで。

担当:榎本、入山、玉井、藤澤  
見どころ:冬的那須路に野鳥を求めて。冬の装い濃い雑木林を散策しながら、小鳥たちを探しましょう。池ではカモたちが待っています。もしかしたらあのカモも……

### 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日:1月20日(土)  
集合:午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。  
担当:田中、玉井、吉安、長嶋、長野、菱沼(一)、榎本(建)、青木、鬼塚  
見どころ:アシ原、沼、田んぼ、屋敷林と変化に富んだ環境。そんな黒浜に今シーズンも冬鳥がたくさん来てくれました。沼では水辺の鳥が何種見つかるかな。空もときどき見て! オオタカが舞っているかも。アカゲラなどの声にも気をつけて! 11月の探鳥会では46種も出現。

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき:1月20日(土)午後3時~4時ころ  
会場:支部事務局108号室

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日:1月21日(日)  
集合:午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。  
後援:さいたま市立浦和博物館  
担当:楠見、福井、倉林、渡辺(周)、新部、若林、小菅、赤堀、青木、宇野澤、増田、須崎  
見どころ:毎年の事ながら見沼の自然と鳥に出会ってこそ、新年を迎える気持ちになります。どうぞ新しい友達をさそってご一緒に出かけください。

### 北川辺町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日:1月21日(日)

集合:午前8時10分、東武日光線柳生駅前または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通:東武日光線新越谷7:20→春日部7:35→栗橋7:54→柳生8:05着。またはJR宇都宮線大宮7:07→栗橋7:41着で、東武日光線乗り換え。

解散:午後12時半ころ、谷中村史跡ゾーン。  
担当:内田、橋口、玉井、田邊、四分一、中里、鬼塚、植平

見どころ:前回は12月でしたが、谷中湖の干し上げの関係で1月に変更しました。水鳥を見ながら鷹見台に足を運びます。鷹見台ってどこなの? 初めての方は非ご参加ください。第二調節池を飛ぶ猛禽類と広大な金色のアシ原を堪能してください。

### 茨城県・平潟温泉探鳥会(要予約)

期日:平成19年1月27日(土)~28日(日)  
定員に達したので締め切りました。

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期日:1月28日(日)  
集合:午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。  
交通:西武新宿線本川越8:43発、所沢8:36発に乗車。  
担当:長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、石光、山田(義)、山口  
見どころ:耳を澄ますと藪の中からアオジの地鳴き、目を凝らせば河原にイカルチドリやイソシギの姿。冬の野山には思った以上に鳥たちが生活しています。防寒対策をしっかりすれば楽しい散策になります。



ヨシガモ(蟹瀬武男)



## 行事報告

5月13～14日(土～日) 群馬県 四万温泉周辺

参加：27名 天気：13=雨、14=曇

オシドリ トビ オオタカ ノスリ クマタカ  
ハヤブサ キジ キジバト ツツドリ カワセミ  
アオゲラ アカゲラ コゲラ ツバメ キセキレイ  
ハクセキレイ サンショウクイ ヒヨドリ  
カワガラス ミソサザイ トラツグミ クロツグ  
ミ ウグイス メボソムシクイ エゾムシクイ  
センダイムシクイ キビタキ オオルリ エナガ  
コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジ  
ロ ホオジロ クロジ カワラヒワ イカル ス  
ズメ カケス ハシブトガラス ハシボソガラス  
(42種) 上州路の3探鳥地を巡る温泉探鳥会を設定した。大宮を出発するとだんだん天気が怪しくなり、赤城山小沼に着く頃には小雨模様。傘を差しながら歩き始めるとキビタキが前方を右往左往。徐々に鳥たちが現れた。昼食後、高山村の県営牧場に到着。埼玉では滅多にお目にかかれないサンショウクイが迎えてくれた。四万温泉に宿泊し、翌朝は奥四万湖を一周しながら何度も現れるクマタカやツツドリを堪能し、上州路を後にした。

(橋口長和)

8月6日(日) 北本市 石戸宿

参加：50名 天気：晴

カワウ アオサギ オオタカ コジュケイ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ シジュウカラ メジロ ホオジロ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス(17種) やっと夏らしくなった、猛暑の中の探鳥会。コースは木陰が多く、何とか全員元気に自然学習センターの教室に到着。出現鳥は少なかったが、夏を満喫した。

(浅見 徹)

8月19日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：11名

浅見徹、新井浩、石塚文雄、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、千野安以、藤掛保司、藤野富代、増尾隆

8月20日(日) さいたま市 三室地区

参加：41名 天気：晴

カワウ チュウサギ アオサギ カルガモ オオタカ サシバ イソシギ キジバト ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ オオヨシキリ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(21種) とにかく暑い日で、時間とコースを短縮して実施した。しかし、嬉しいことがあり、参加者の心に涼しい風が吹いた。見沼田んぼの象徴として親しまれているプラタナスの大きさを工事で伐採しないことになったのである。朝の挨拶で、コアジサシやシロハラクイナの保護に取り組む支部の活動に絡めて、プラタナスの木が景観保全のために残されたことを話した。

(楠見邦博)

8月20日(日) 千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園

参加：49名 天気：晴

ハジロカイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ スズガモ トビ チョウゲンボウ シロチドリ メダイチドリ ムナグロ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ エリマキシギ キアシシギ ソリハシシギ チュウシャクシギ ミユビシギ セグロカモメ ウミネコ ハジロクロハラアジサシ クロハラアジサシ アジサシ コアジサシ キジバト ツバメ ハクセキレイ セッカ スズメ ハシボソガラス(31種) 暑い中での探鳥会。まずは西側に行ってシギ・チドリを観察。今回はアジサシの群れの中に、ハジロクロハラアジサシとクロハラアジサシが見られた。東側に移動してエリマキシギ♂2、♀1を見てから、ハジロカイツブリ夏羽を見て終了。

(佐久間博文)

8月27日(日) 千葉県習志野市 谷津干潟

参加：70名 天気：晴後曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ バン コチドリ シロチドリ キョウジョシギ オバシギ アオアシシギ キアシシギ イソシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ セイタカシギ ウミネコ キジバト ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(31種) 春に続いて潮回りが悪い。それでも少し出た

干潟にシギ・チドリ類がまばらに見られた。珍しくソリハシシギが10羽近くいた。解散後にコオバシギなど数種類が増えた。  
(杉本秀樹)

9月10日(日) 熊谷市 大麻生

参加：49名 天気：晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ハシビロガモ トビ オオタカ キジ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 真夏を掘り返すような天気になった。汗をふきふき土手に出る。クヌギの木ではコゲラが餌取りに夢中になっていた。ここのところヤマガラがととも多い。ここ大麻生でも随所で見られた。途中、道端ではセンニンソウが咲き誇り、ひと時をいやしてくれる。明戸の堰では早々とハシビロガモが入っていた。これには驚いた。モズの高鳴きが響き渡り、秋本番が感じられた。(中里裕一)

9月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア：8名

浅見徹、新井浩、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、志村佐治、千野安以、藤野富代

9月17日(日) さいたま市 三室地区

参加：68名 天気：晴

カワウ ゴイサギ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ バン イソシギ キジバト ツツドリ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ コムクドリ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) おかげさまで、250回の探鳥会を迎えた。300回まで楽しく頑張ろうと、参加者全員で祝った。出現鳥も9月にしてはいろいろ出て、記念日にふさわしい会になった。(楠見邦博)

9月18日(月、休) シギ・チドリ類調査

ボランティア：9名

青木正俊、浅見徹、石井智、内田孝男、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、大勝学、山田東二

9月24日(日) 狭山市 入間川

参加：32名 天気：快晴

カイツブリ カワウ コサギ アオサギ カルガモ オオタカ イカルチドリ イソシギ キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ セッカ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (27種) この秋はあちらこちらでヤマガラを見る。稲荷山公園では、シジュウカラよりもたくさん居るように感じられた。カモ類はまだ来ていないが、カケスが山を降りてきた。これからどんな冬鳥に出会えるだろうか。

(長谷部謙二)

9月24日(日) 松伏町 松伏記念公園周辺

参加：50名 天気：晴

カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ チョウゲンボウ バン イソシギ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ノビタキ セッカ コサメビタキ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (26種) 今年も台風が発生して心配したが、秋晴れに恵まれて、半分ほど稲刈りの済んだ田圃とヒガンバナの連なる中川の土手道、そして公園の林を歩いた。松伏の探鳥会が始まって以来の参加者数に恐れをなしたのか、下見では6種出たサギは4種だけ、定番のシラコバトも雲隠れ。その代わりと言ってはなんだが、集合地でコサメビタキ、田圃ではチョウゲンボウとノビタキ、終盤の中川でイソシギとタシギが出てくれて、喜んだ参加者の顔を見ているとリーダーをしていて良かったと思った。

(田邊八州雄)



10月9日 さいたま市大久保農耕地探鳥会



蕪栗沼のマガン(長谷川訓寿)



●冬鳥調査のはがき同封

前月号本欄で「冬鳥調査のはがきを同封する」とお知らせしました。『しらこぼと』だけを受け取る会員の方たちには同封できましたが、『野鳥』と一緒に受け取る会員の方たちには、同封することが出来ませんでした。申し訳ありませんでした。今月号に同封します。

12月1日から1月31日までの調査期間中に、県内どこかの観察地で観察した鳥種を、記入してお送りください。

宛名の下半分は、「今回の注目種」の欄。今回は前月号でお知らせした通り、ホオアカです。期間内に県内でホオアカを観察された方は、ここに記入してください。

50 円の切手をご負担いただくのが恐縮ですが、できるだけ多くの会員のご協力をいただき、県内の野鳥の分布状況を明らかにしたいと考えています。

●渡良瀬遊水池の署名運動

埼玉県支部での署名を内田孝男幹事が 10 月末に集計したところでは、892 名分になりました。その後、実家の富山県で集めたと 120 名分の署名を届けて下さった会員の方もあり、合計 1,000 名分を超えました。まことにありがとう

ございます。引き続きよろしくお願いします。

●ただ今狩猟期間中

北海道を除き、例年 11 月 15 日から 2 月 15 日までが、狩猟期間です。藪の中で野鳥を観察していて、誤射されないようにご注意ください。空気銃の場合は、近くで狩猟していても音が聞こえないので特に注意して欲しいと、福井恒人県鳥獣保護員は話しています。

●事務局の予定

- 1月6日(土) 編集部・普及部・研究部会議。
- 1月13日(土) 2月号校正(午後4時から)。
- 1月20日(土) 袋づめの会(午後3時から)。
- 1月21日(日) 役員会(午後4時から)。

●会員数は

12月1日現在 2,261 人です。

活動報告

- 11月11日(土) 12月号校正(海老原美夫・喜多峻次・志村佐治)。
- 11月12日(日) 役員会(司会:田中幸男、各部の報告・関東ブロック協議会最終準備・その他)。
- 11月20日(月) 12月号を発送(倉林宗太郎)。

編集後記

秋の渡りから冬鳥まで、例年と比べ明らかに数と種類が多い。鳥が多いとやはり鳥見をする回数も増えるわけで、キビタキ♀の識別も迷う事がなくなったし、ウソの翼の色が藍の混じった品のいい黒である事もよく分かった。マヒワの♀と幼鳥もすぐに区別が出来るようになった。秋ヶ瀬公園までの自動車道通行料金片道 800 円も惜しくない。毎年、こうであって欲しい。(山部)

しらこぼと 2007 年 1 月号 (第 273 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130  
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号  
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/  
 編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階  
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社